

令和4年 4月1日開園

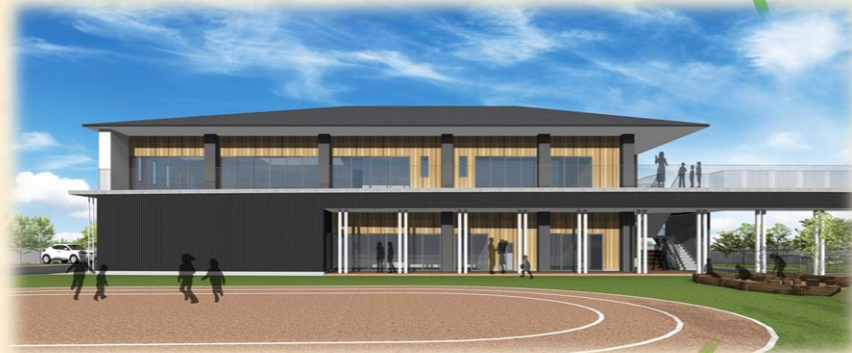
社会福祉法人心暖まる会

「認定こども園ひかりの森」



認定こども園ひかりの森
園舎グラウンド側

認定こども園ひかりの森
園舎玄関側



認定こども園ひかりの森
緑地から見た園舎



【定員75名】

1号認定 : 15名

2・3号認定 : 60名

「地域コミュニティ
カフェ」
吹き抜けで開放
的。2階は広いテラ
スになっています。



【問い合わせ先】

社会福祉法人心暖まる会特別養護老人ホームサニープレイス彦根
事務所内こども園担当
彦根市三津町446番地1 (Tel 0749-47-3577)



「おもしろそう！ やってみたい」から 「もっとやってみたい、もっと知りたい！」へ 子どもは 未来をつくる 大切な存在

社会の在り方が劇的に変わる Society5時代の到来や、新型コロナウイルス感染拡大など先行き不透明で予測困難な時代を生きていく子どもたち。そんな子どもたちに必要な力は、“文章の意味を正確に読み解く力” “知り得た知識をつかって自分で考え表現する力” “ひとと協働し知識やアイデアを共有しながら新たなものや考えを生み出す力” だと言われています。

そのような力は突然に備わるものでもなく、また教えられて育つものではありません。“まわりの出来事や環境に心動かし、自らかかわり、自分ごととして考え発信していく” “一人一人の個性が活かされ、互いの良さを活かしながら協働して新たな社会をつくり出す” …そんな毎日の生活の中で育まれます。そして、脳が爆発的に成長する乳幼児期だからこそ、そのような「より豊かな体験(遊び)が保障される生活」が重要だと考えます。

「ひかりの森」は、「おもしろそう！ やってみたい」と心を動かし、自らまわりの出来事や環境にかかわっていく、そして「もっとおもしろく、もっと知りたい」と繰り返し新たに挑戦し続けることができる保育をめざすとともに、一人一人の子どもが「自分はこれが好き！」を見つけられ、その「自分の好きなこと」を活かし合う生活を友達とともに楽しめる、そんな未来をたくましく、しなやかに生きていく力が育つ場所になりたいと考えます。

◇「おもしろそう！やってみよう」は0歳児から始まっている。(学びの始まり)

外の世界に目を向け自らかかわろうとする姿は0歳児からも見られます。安心できる心地よい生活の中で信頼できる大人(保育者)を心の支えにして、身の回りのものや出来事・環境にどんどん心が動き「自分で」確かめようと動き出す0歳児の子どもたち。はじめはまなざし、そして手で、歩行が確立すると自分の足で…そんなふうに、周りの世界へとその興味関心はすでに0歳児から始まり、さらに広がっていきます。

そんな子どもたちの外の世界への興味関心(科学する心)をじっくり思い切り楽しむことができるように、そばで温かく寄り添いゆったりと支えていきたいと考えます。

◇“ひとへの信頼感”(ゆるやかな育児担当)と“安心できる生活”(自分でわかる生活)

食事や排泄は命を守るために必要な生活の場面です。その生活の場面に同じ保育者がいつもと変わらない方法で関わることにより愛着の関係が形成され、安心して生活できることを大切にします。

さらに、担当保育士との愛着の関係を心の支えにしなが、あそびの場面では他の保育士やまわりの友達へと“人への信頼の幅”を広げていけるよう、「人とのかかわりの広がり」も重点において保育を進めます。(ゆるやかな育児担当)

また、保育室環境を整え「自分でできることは自分でしたい」を最大限に保障できること、さらに、今日、今、自分はどんなふうに過ごすのか、何をしたいのか、しようと思うのか、自分の生活が見通せる、わかることで、登園から降園まで園生活のすべにおいて「ひかりの森で生活しているのは自分！」(生活の主体は子ども自身)というように、一人一人の子どもたちが自信と自己肯定感のもてる保育を大事にします。(見通しをもって活動できる安心の生活)

“いっぱいからだをつかって” “いっぱいあたまでかんがえて” “いっぱいところをうごかして” 思う存分あそぶ毎日がある。ひかりの森は、そんなたくましく、しなやかに生きていく力が育つ場所になりたい。

◇豊かで質の高い保育環境

(「おもしろそう！」…心が動く環境)

【室内】

発達に沿った玩具・保育室環境・フリースペース・延長保育室・ランチルーム

おもちゃは子どもたちの遊び心をくすぐるだけでなく、触ったり、自分で確かめたり、遊ぶ中で友達と一緒に考えたり工夫したり、またルールを守るから面白いなど、子どもの発達にとって重要な役割もっています。ひかりの森は、落ち着いた保育室環境の中に、それぞれの年齢の発達段階に応じて厳選したヨーロッパのおもちゃを中心に取り入れています。さらに、保育室とは別に子どもたち同士が話し合ったり、協働で作業したりできるフリースペースや、食育活動を楽しめるキッズキッチンのあるランチルームなど、子どもたちの「やってみよう」がいろいろな形で叶う場所があります。

また、家庭のリビングルームのような延長保育・一時保育室、お話の世界をじっくり落ち着いて楽しめる絵本コーナーや遊戯室には隠れ家のような場所があるなど、ほっこりできる安心の場所、さらに、うんていや登り棒が園舎内にあり雨の日でも運動遊びが楽しめる空間があります。

★「地域コミュニティカフェ」

緑地やピクニック広場とともに、こども園と通路でつながった「地域コミュニティカフェ」はおもちゃが整備され、保護者の方や地域の皆さんのコミュニティの場として、ゆったりお茶休憩もしていただけます。

★ノンコンタクトタイムはゆっくり…

休憩時間をゆったりリラックスできる空間で過ごすことができるよう、職員室・職員休憩室はカフェのような空間になっています。体も心もリフレッシュして、午後からの保育も元気に！！



吹抜けの玄関。玄関を入った正面、一時預かり室はお家にいるようなほっこり空間に。左奥には中庭のあるランチルーム。

玄関からの吹抜けで明るい2階ホール。右奥がフリースペース。左奥にはライトコート。



クッキング活動ができるキッチンがあるランチルーム。中庭があり開放的な空間。



【室外】

わくわくの森・ビオトープ・グラウンド・菜園・緑地

戸外で自然に触れて遊ぶことは、体の発達と言うまでもなく、脳の発達や情緒、人とのかかわりなど、生きていく上で大変重要な力が育まれると言われています。

ひかりの森では、過ごしやすく衛生的な施設や発達に沿った保育室環境だけでなく、思い切り運動遊びを楽しめるグラウンド、自然を全身で感じられ生命の不思議と出会える緑地やビオトープ、そして、そんな自然を思う存分楽しみ関わりながら、思いをめぐらして新たな遊びを作り出せる「わくわくの森(あおぞらキッチンや作業場)」を整備しています。